

森林やまがた

No.77

2003 8月

目次

森林組合改革の取組	2
「山形グリーンライフ 女性の会」の活動	3
ふるさと林道「羽州湯の里線」開通	4
緑の少年団活動報告	
みんなと一緒にのさくらんぼがり	5
とても甘かったさくらんぼ	5
「湯野浜・今泉地区」地域防災対策 総合治山事業が完成	6
新JAS制度が全面施行	7

現地ルポ 次世代を担う子供たちの活動	8
センタードピックス 新たな優良種苗生産と次世代型採取園	9
山形県の古木・名木	10
公共木造施設	10
お知らせ	
第56回全国植樹祭 シンボルマーク募集	11
森林課ホームページの紹介	11

(表紙写真は、田代山地区地すべり災害対策工で実施した流路工：大江町)

森林組合改革の取組

持続可能な森林管理システムの構築に向けて

県内の森林組合は、民有林の新植の約八〇%、間伐においてはほぼ一〇〇%を担い、また、林業従事者の約七三%を雇用するなど（いずれも平成十三年度資料）、森林整備の担い手として大きな役割を果たしております。

今後も、森林組合が地域の森林整備の担い手としての役割を果たしながら、経営を持続的に発展させていくためには、経営基盤の強化と体制強化に早急に取り組むことが求められています。

このような中、森林組合系統では、組合員のニーズに応え、持続的な森林管理を担い得る体制の拡充強化を目指すため、今後の系統の組織・事業の方向を示す「森林組合改革プラン」を策定しました。

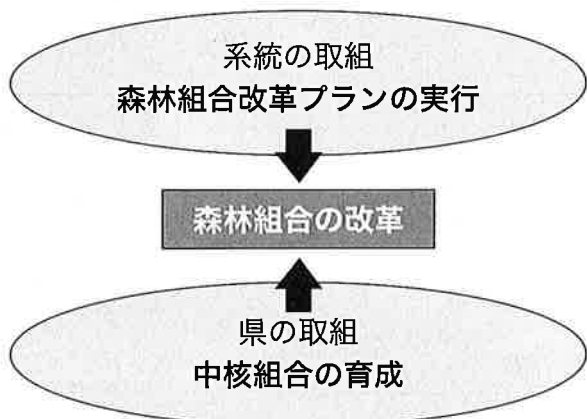
この改革プランは、平成十五年度から十八年度までの三か年を重点取組期間に、将来に渡って健全な自立経営が確保される力を備えた森林組合系統へ改革することを基本方針として、組織及び事業の再編、経営管

理体制の強化等に系統あげて取り組むものです。

特に合併については、森林組合二十一世紀ビジョンに基づく七組合への合併構想を基本に、強力に推進することとされています。

このような取組は、森林組合の持続可能な森林経営の確立のみならず、森林資源を有効活用した地域の活性化及び多面的機能の発揮に向けた森林の整備・保全を推進するものとい

【森林組合改革への取組】



【山形県森林組合改革プランの概要】

○組織改革

- ① 合併の推進
森林組合21世紀ビジョンで示した7組合への合併構想を基本に推進し、更に県内4組合を視野に入れた検討を行う。
- ② 体質強化（これからの組合が必要とする要件）
 - ・組合員所有森林面積：概ね15,000ha以上
 - ・自己資本総額：概ね100,000千円以上
 - ・自己資本比率：概ね40%以上
 - ・常勤理事1名以上を含む常勤役員数：10人以上
 - ・事業管理費：事業総利益の範囲以内にあること
- ③ 経営体制の強化：支所の統廃合、常勤理事の配置 など

○事業改革

- ① 利用事業の積極的推進
森林施業計画に基づく事業の実施、森林地域活動支援交付金の積極的な活用など
- ② 販売加工体制の強化
製材の収支改善及び統廃合、木材流通センターの活用推進など

○山形県森林組合連合会の取組

- ① 指導・監査事業の積極的展開
- ② 組合の広域合併の推進及び組合役員職員の資質向上
- ③ 県産材の安定供給及び間伐材の利用拡大

えます。

また、地球温暖化対策を進める上で、二酸化炭素吸収源としての森林の整備が不可欠であることから、今後、森林組合は地域の森林整備・森林管理の重要な担い手として一層役割が増すこととなります。

森林組合系統の取組を支援するとともに、組合の合併等による経営基盤の強化、業務執行体制の拡充強化を図るため、「山形県森林組合指導方針」を定め、中核組合の認定等をおして組合の健全で自立的な経営の確立を推進してまいります。

〔森林課林政係〕

「山形グリーンライフ女性の会」の活動

みんなでいい汗流してグリーンライフの森をつくろう



山形グリーンライフ女性の会 副会長 佐藤 眞弓

平成四年に発足した「山形グリーンライフ女性の会」は、森林ボランティアとしていろいろな活動に参加しながら、自らも研鑽を積みつつ、早いもので今年、設立十周年となりました。

そこで、記念事業の一環として、グリーンライフの森林・植樹をすることになりました。

植樹場所は、山形市蔵王上野坂山外三国有林二三林班か小班の面積〇・二五畝で、杉苗四二〇本を植えることになりました。

記念植樹当日（平成十五年六月十日）は、昨夜来の激しい雨が嘘のようにからりと晴れ、新緑の山から気持ちのいい風が吹いてくるといった天候に、参加した会員は「みんなの日ごろの心がけが良いからだ」なんて、とてもいい気分でした。開催セレモニーで、東北森林管理局山形森林管理署の方から現地状況の説明、作業方法の指導をうけ、午前中は地拵え作業をいたしました。

地拵え用の柄の長い鎌を持ち、二人一組で傾斜地を登りながら作業を進めているうちに、自然が見せる力強さや、可憐さに驚かされながら、すっかりといい汗を流しました。急な斜面に足を取られたりしながらもやっと地拵えを終えることができました。

みんなのがんばりで、からっと明

るくなった現場を眺めながら、楽しい昼食、わいわいと女性パワーを発揮しながら、午後からの植え付け作業への英気を養うひとときでした。

会員持参のきゅうり漬け、取立てのイチゴ、会員の家の湧水のおいしい水、等に舌鼓をうっていると西蔵王ラインを通る車の中から手を振る人々もいました。「楽しそうだね！」といっているようでした。

午後一時、植え付け作業開始です。一人だいたい二十本くらいの目安で植えるので、楽しいというよりは大変だという感じでしたが、みんなの元気が上回っていて、二時半には植え付けを終了しました。杉苗の根がしっかりと山の土の中に埋められ、水に流されないように長靴できちんと踏み込むといった細かい心遣いをも指導していただきました。

最後に現地に記念の碑を打ち込み、みんなは自分たちの作業の成果に満足しながら、貴重な自然、森林を次の世代へと引き継いで行くことの大切



創立10周年記念植樹に集まった会員

切さを改めて認識し、「地球にやさしく」を実感しました。来年からは下刈り作業が待っていますね。さあー 来年もまた、いい汗を流しに来ましょう！

この度の山形グリーンライフ女性の会の十周年記念植樹には、山形森林管理署をはじめ行政担当の方々や山形地方森林組合の方のご協力に支えられたことを、心から感謝とお礼をもうしあげます。

事務局 山形地方森林組合
電話 〇二三―六四四―〇〇五三



地拵えに汗を流す会員

祝 ふるさと林道「羽州湯の里線」開通



丸太(テープ)カットやくす玉割りで開通を祝う

林道「羽州湯の里線」の修祓式・現地式典が六月十八日に同林道の平田町・鮭川村郡界で行われ、関係者一同神事で開通後の安全を祈願した後、両町村をはじめ庄内、最上地方の関係者が丸太(テープ)カットやくす玉割りにより開通を祝いました。

同林道は、県がふるさと林道緊急整備事業により、平田町山元の田沢川ダム上流部の国有林林道「山元線」と、鮭川村の羽根沢温泉から与蔵の森周辺に至る国有林林道「羽根沢線」を結ぶ形で、平成九年度から十四年度までの六十年をかけ、総事業費九億二千四百九十万を投じて開設しました。

林道は、森林の整備や管理に不可欠な施設であるばかりでなく、森林空間の総合利用及び林産物による山村振興の活動基盤としても重要であり、その計画的推進が強く望まれています。

山形県では、森林に対する様々な期待に応えるため、森林を県民共有の財産としてとらえ、県民全体で支えていく考えの下に、「循環型社会を担う森林づくり」及び「豊かな暮らしを広げる森林づくり」を柱として、多様な機能の発揮を目指した、総合的かつ計画的な施策を展開しているところであり、本林道もその一環と

して開設されました。

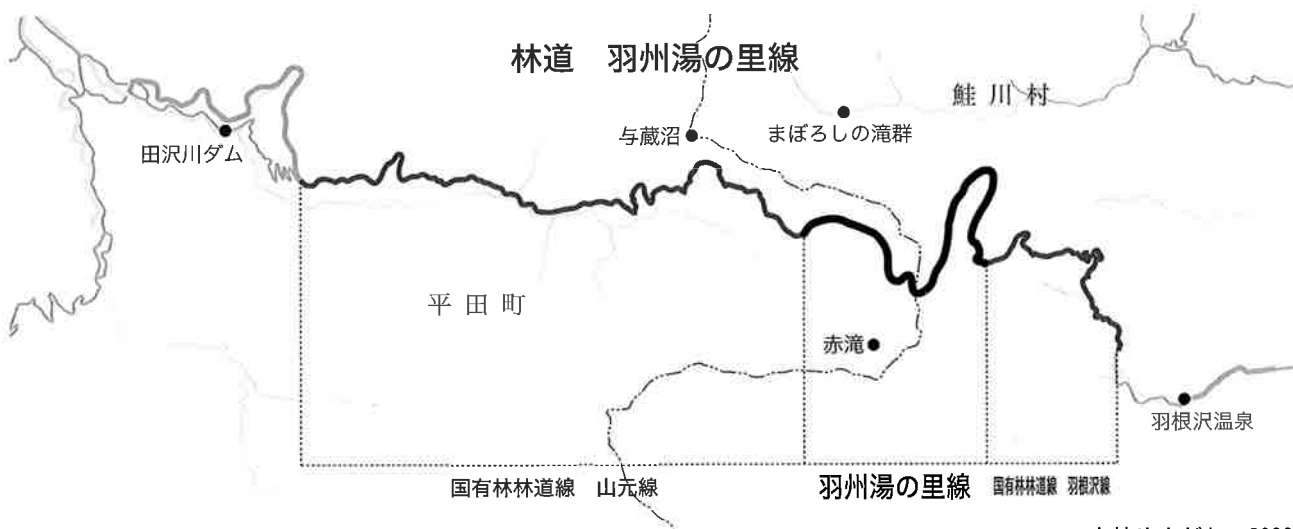
また、この林道は、沿線の広大な森林を管理及び活用するうえでの骨格路線となることはもとより、両町村を連絡する唯一の路線として重要な役割を担うこととなります。

林道の周辺には、平田町側には飽海地方の水瓶である「田沢川ダム」、郡境には伝説の神秘の沼「与蔵沼」や「まぼろしの滝群」、「赤滝」、「ぶなの原生林」、鮭川村側には、いでの湯の里「羽根沢温泉」などがあり、新たな自然観光ルートとしても期待されています。

このたびの開通により、これらの豊かな自然を活用した様々な施設の整備が一層促進され、山村と都市との交流による地域の発展と活性化に大きく貢献するものと確信しています。

この林道の完成を契機として、両町村が結びつきを強め、ますます発展されることを期待しております。

〔県森林課〕



緑の少年団



佐藤さん



高橋さん

活動報告

真室川町立安楽城小学校
6年 佐藤友美子
高橋 竜夫

みんなと一緒にのさくらんぼがり
六年 佐藤 友美子
六年生みんなで、菓子園のさくらんぼ農園に行って、さくらんぼをとりました。私はさくらんぼが初めてなので、どうやってとるかどきどきしました。木のさくらんぼは、実が大きくておいしそうでした。

みんなと一緒にのさくらんぼがり とても甘かったさくらんぼ

「お店に売っているのより、自分たちでとると新鮮だし楽しいよね」と話をしながら、もいでききました。口にいれてみると、あまずっぱかったです。三こ続けて食べてみました。

山の中で、さくらんぼがなっていること、なんだか不思議でした。山の方ってすごいなと思いました。みんな一緒に楽しくとったさくらんぼは、

私は、こんな



たくさんのさくらんぼがとれました

今まで食べたさくらんぼより倍くらいおいしく思えました。来年も行けたらいいな〜と思いました。

とても甘かったさくらんぼ

六年 高橋 竜夫

ぼくたち六年生は、ふるさと山の会の人たちに招待されて、あらかの山に行きました。たくさんさくらんぼが木になっていました。

「すごいなあ、どこからとうりかな」。友だちや女の子たちが、木の下のさくらんぼをとっていたので、ぼくは、きやたつを借してもらって上の方のさくらんぼをとることにしました。甘そうな大つぶのさくらんぼが、てっぺんに大量にぶらさがっていました。

「こんな上の方までさくらんぼがいっぱいすごいいよね」
「お日様にいっぱいあたっていい



お日様の栄養がいっぱいのさくらんぼ

からおいしいよね」
てっぺんに登って、食べたさくらんぼは、甘くて口の中でますます甘さがひろがりました。お日様の栄養がいっぱいのさくらんぼでした。



イラストで見る少年団活動

「湯野浜・今泉地区」

地域防災対策総合治山事業が完成

平成十一年度から施工していた「湯野浜・今泉地区」地域防災対策総合治山事業が平成十四年度に完成しましたのでその概要を紹介します。

事業の経緯

当地区は、鶴岡市の湯野浜から海岸沿いに宮沢、加茂、今泉、油戸集落（家屋等九百四戸）を含む山地等約五百六十軒を事業対象区域としています。



落石防護柵(間伐材使用緩衝材)及び落石防止網

地形は、湯野浜地区において砂浜が形成されている以外は、傾斜角四十度前後の山腹斜面が海岸まで追っており、僅かな平地に集落や漁港が形成されています。なお、加茂地区は入り江になっており山に囲まれた平地地に、急斜面に隣接して学校や人家等が建てられています。

当地区は、冬期間の季節風をはじめ、海からの強風が直接吹き付けるため、凍結融解等による風化作用により山腹斜面の崩壊等が頻繁に発生しており、これまでに治山ダム二十三基、山腹工二十八箇所を施工してきましたが、新たに落石の危険性が高まり、迅速な対策が必要となったため、当事業に取り組み昨年度完成を迎えました。

事業の概要

当事業は、落石防止対策を主体として実施しており、年度別の主要工事内容と工事費は下表のとおりです。当地区は、全域が県立庄内海浜自然公園に指定されているため、既存の樹木や植生を生かしながら景観に配慮して施工しています。また、落石防止柵の緩衝材や山腹斜面の小崩

壊防止柵工等に積極的にスギ間伐材を使用するようにしました。

さらに、山腹斜面が人家や道路に接近しているため、地元住民と調整しながら通行の安全と家屋への被害防止に配慮しながら工事を施工しました。

おわりに

県民の生命財産を守る治山事業については、厳しい財政状況ではありますが、今後ともコストの縮減を図りながら他所管との連携を密にし、



土留工及び落石防止網

地域防災対策総合治山事業年度別実績

主要工種	11年度	12年度	13年度	14年度	計
コンクリート土留工 (m)(m ³)		<82>454	<98>280	<80>377	<260>1,111
落石防護柵 (m)		82	57	20	159
落石防止網 (m ²)		1,749		3,740	5,489
水路工 (m)				70	70
フリーフレーム工 (m ²)	584				584
厚層基材吹付工 (m ³)			2,228		2,228
森林整備 (ha)				0.23	0.23
工事費 (千円)	28,365	71,894	65,576	74,261	240,096

工夫した取り組みを進めてゆきたいと考えております。この事業の完成により当地区の居住環境が整備され、また、七月五日には大山から加茂地区に抜ける加茂坂トンネルが開通し、交通の便も良くなりましたので、今夏の海水浴シーズンには湯野浜から由良にかけてのきれいな海岸を訪れてはいかがでしょうか。

〔庄内総合支庁森林整備課〕

平成十一年七月に改正された新JAS法が今年六月十日に全面施行されました。この間、経過措置で認められていた旧JAS法による工場認定が六月九日で失効し、十日からは新JAS法による認定を受けた工場だけJASマークの表示が認められます。

JAS制度は、昭和二十五年に「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律」(JAS法)として制定され、農林水産大臣が定めた日本農林規格(JAS)による検査(品目毎に性能、形量、品質等)に合格した製品に対してJASマークを貼付し、品質や性能を明確に表示し、保証する制度です。

今回の改正点

大きく二つの改正がありましたので紹介します。

- ①製材所が自ら品質管理を行い、JASマークを貼付して出荷することができま
- ②検査機関等への民間参入を認めています。

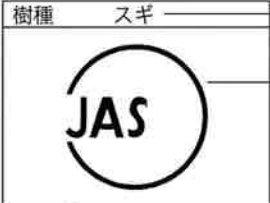
このことにより、JAS製材品の出荷には、検査機関によるJASの検査を受けるか、製材工場が検査機関から認定を受けて自社の品質管理と検査により、自社の責任において

新JAS制度が全面施行

品質の明確なJAS製品の普及に向けて

●針葉樹構造用製材のJASマークと表示項目の例

JAS表示の意味は？

樹種	スギ	樹種	スギなどの樹種の名称を示します。
		JASマーク	JAS製品であることを示します。
		構造上の種類	(乙種)柱など主に縦に使われる部材であることを示します。 (甲種)梁など主に横に使われる部材であることを示します。
種類	乙	強度等級	強度性能重視の等級 (★★★) 1級 (★★) 2級 (★) 3級 <small>適材適所で使用する部分によっては3級でも十分な強度を有しています。上位の等級は設計上必要がある場合等にその性能が発揮されます。</small>
等級	★★★		
乾燥	SD20	乾燥の程度	数値は製材品の含水率(%)を示します
寸法	105×105×3000(mm)	寸法	数値は製材品の木口の短辺、木口の長辺及び材長を示します。
製造業者名 ○○○製材所			

出荷が行えるようになりました。新JAS工場として、全国で六百六十七工場を認定しています。このうち、自ら品質管理等を行ってJASマークを貼付する工場が四十工場、第三者の検査機関に検査を依頼する工場が六百二十七工場あります。旧JAS認定工場の二千二百五十九工場(平成十二年度末)に比べると約

三分の一の工場数となっています。これは、三年間の移行期間がありましたが、長引く景気の低迷や一般住宅にJAS製材品があまり利用されていないことが考えられます。今まではあまりJAS制度が普及しない問題点として、

①JAS制度の製材工場に対する普及啓発や一般消費者の理解度が低い。

②JASの製材品でなくても販売できる。(特に一般住宅においてJAS製材品の割合が低い。)

③一般住宅における木材の価値が品質や性能よりも外観や見栄えが重視されている。

ことがあげられます。しかし近年、住宅に対する品質の保証が問われたことから、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」により、性能の評価や住宅に対する十年間の瑕疵担保責任の制度、消費者契約法などの施行につながっています。今後、住宅は長く安心して暮らせることが求められています。

そのためには、強度・寸法・乾燥の品質が確かな製品の提供が必要であり、消費者・大工、工務店に対する普及啓発が重要です。

県内では、新JAS制度の認定工場は、自らJAS貼付を行う一社と第三機関に依頼する十九社の計二十社です。これを受け、山形県JAS製材連絡協議会を立ち上げ供給体制の整備を図っています。

今後とも、消費者に対して安心・安全の製品を安定して提供できるよう協議会と連携し、普及啓発を図っていきます。

[県森林課]

次世代を担う子供たちの活動

荒廃した松林を再生させよ

県内での松くい虫による松の被害は、平成八年度以降は減少していましたが、平成十一年度から三年連続の夏の高温小雨により増加しました。今では、県内の松林一万六千畝の約半分が被害を受けています。平成十四年度の被害は、約三万三千立方畝と前年度の一・四倍に当たる被害が出ました。

ここ西村山地区にあっても、河北町と西川町では被害区域が拡大しています。平成十五年六月末現在での西村山地区の被害量は、約五千六百立方畝と推測しています。

今回紹介する大江町大山自然公園では、中核地の松を地上散布で予防しながら、被害木については治山事業・公園周辺は造林事業の衛生伐で

伐倒駆除し、効果的な防除に取り組んでいます。

松くい虫被害で荒廃した林を子供たちの手でよみがえらせようと大江町緑の少年団員による「リサイクルポットを利用した自然林づくり体験」を六月に行いました。

子供たちは、唐鍬やスコップでササの根がはびこる地表を剥ぎとった植樹地に、思い思いに絵や文字を書いたどんぐりポットを水平に置き、植樹しました。その後、苗木保護のため付近にあった松くい虫被害木等を重石とし、新聞マルチを施しました。なお、この体験で植えた稚樹は、昨年度の活動で拾ったどんぐりを育てたものです。

「自然林づくり体験」に参加した子供からは、「昨年拾ったどんぐりを無事に公園に戻せてうれしい」、「どんぐりの芽が出るようじいちゃん的一生懸命そだてた」等の感想がありました。

子供たちに「植えた木見に来てね」と声をかけたところ、「うん、また来る」と間髪入れない返答が返ってきました。この活動を通して、自分たちの力で自然を育てる面白さを学んでくれたと感じました。今後、松林荒廃地がササ地に移行する前に、ナ

ラとヒメサユリの美しい林になるよう期待しています。

最後に、当管内では、「守るべき松林」に対する防除対策の他に、跡地対策にも力を入れる必要があることから、次世代を担う子供たちと共に森づくりを行って行くことに力を注いでおり、この活動もその一環として企画したものです。

今後は、植樹地域を拡大し、植栽木の管理も子供たちに体験してほしいと考えています。

〔村山総合支庁西村山森林整備課〕



昨年作ったリサイクルポット



リサイクルポットで植樹



新聞マルチをして植樹を完了

新たな優良種苗木生産と次世代型採種園

―スギミニチュア採種園から―

◆はじめに

県内民有林のスギやマツ類など造林木の苗木は、そのほとんどが羽黒町にある林木育種園の採種園産の種子から生産されています。林木育種園についてはあまり注目されることはないのですが、最新の情報について紹介します。

◆採種園と次代検定林

採種園は精英樹で構成されています。精英樹は林の中から主に成長がよい木を選抜したもので、その木が本当に遺伝的に優れたものなのかを調べるのが次代検定林です。近年、次代検定林のデータが蓄積されてきて、次第に優良系統が明らかになってきました。遺伝的に優れた種苗を選りすぐって栽培することは、作物を作るうえで最も基本的なことであり、特に林木の場合は収穫までに長期を要し、優良系統導入の効果が大きいことから、育種は重要な課題と言えます。現在の採種園は、選抜した当時の精英樹をそのまま植え込んだもので、今後遺伝的性質を改良する必要があります。スギ採種園を次代検定林の結果から成長の優れた品

種によって改良すると、樹高で一〇七・五％、幹の直径で一〇八・七％の成長が見込めることとなります。



従来型採取園の管理作業

◆スギミニチュア採種園の導入に向けて

従来のスギ採種園は、造成して種子が取れるまでに少なくとも十年はかかるため、品種を導入しようとする、そのサイクルはどうしても長くなります。また、採種、管理作業も樹高が四〜五メートルと高いため、梯子作業や木登りが伴い、危険で重労働です。そこで、新品种の導入サイクルの短縮と採種効率を改善するために、現在全国的に拡がっているミニチュア採種園の方式です。ミニチュア採種園は樹高が一・〇〜一・



青森県のミニチュア採取園(積雪1.0m以下)

五メートルと低いいため、作業が安全なうえに、小面積で集約的な採種、管理作業ができます。また、着果促進技術によって植栽から三年程度で採種できるため、更新サイクルが短くなり、優良な品種をすぐに取り入れることが可能になります。

本県の場合、既存のスギ採種園は古いもので四十年近くが経過し、新品种導入の必要性に加え、老朽化に伴う採種量の減少と管理作業が困難になってきていることから、新たな採種園の造成が緊急の課題となっています。ミニチュア採種園の導入に

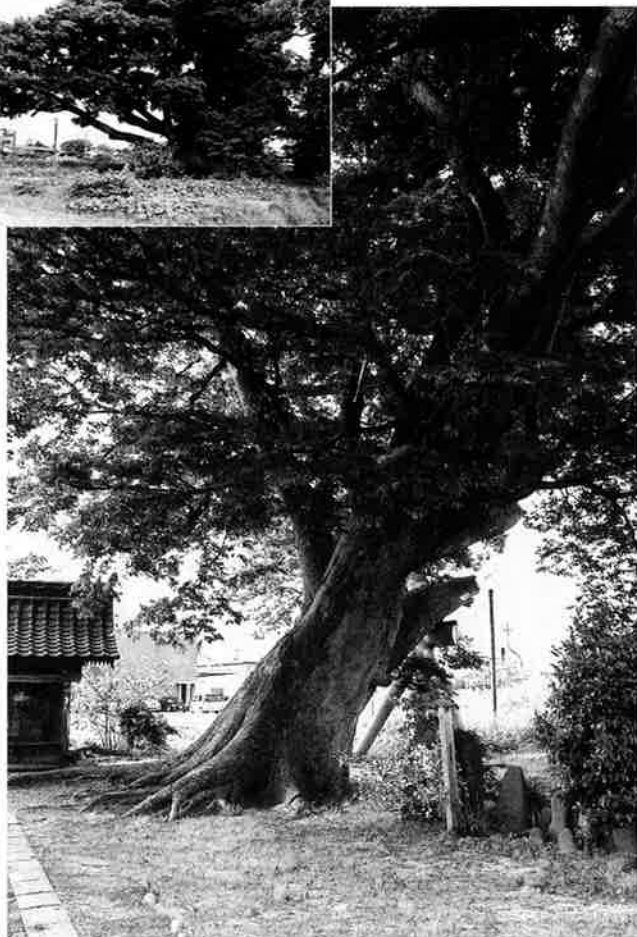
は多くのメリットがあるのですが、本県は多雪地帯であるため、低木仕立てにした場合の受粉交配の時期と積雪の関係や採種木の雪害防止技術など未解明な部分が残っています。この問題を明らかにするため、現在スギミニチュア採種園造成予備試験を実施しています。

ミニチュア採種園の導入が可能になれば、従来以上に成長が良い品種、耐雪性が高い品種のほか、材質が優れた品種や、社会的な問題となっているスギ花粉症が発生しない品種など、多様なニーズに応じた種苗生産が可能になります。

〔県森林研究研修センター〕



ミニチュア採取園の種子着果状況



山の神社のケヤキは、「町の木ケヤキ」として町民から親しまれており、昭和四十九年三月三十一日町指定天然記念物に指定されている。

ケヤキは、風に強い庄内地方の防風林として古くから利用され、親しまれてきた。この「山の神のケヤキ」は、樹齢三百五十〜四百年といわれ、根回り七・〇五m、目通り幹囲六・四m、樹高二十五・〇mで、枝張り北側が最大で二十三・七mである。

〔山形県森林協会〕



(案内略図)



公共木造施設 ⑩

かりがね城
(長瀨城)

東根市長瀨小学校

(かりがねの歴史を築く触れ合い
広場に整備された手づくりの城)

完成年 平成15年度

構造 木造2階櫓

高さ 5.16m

建築面積 16.56㎡

特徴 この城は、岐阜城天守(3階櫓)をモデルにしたものの復元版であるという。使用した木材は関山愛林公益会から間伐材等の無償提供を受けたほか地元調達によった。



第五十六回全国植樹祭 シンボルマーク募集

茨城県では、平成十七年春季に開催される全国植樹祭のシンボルマークを募集しています。募集要項は次のとおりです。

応募方法

- ・封書による郵送とし、A4サイズ
の白紙にデザインし、作品の裏に
制作の意図、住所、氏名、年齢、
性別、職業、電話番号を記入して
ください。

・作品は、一人で何点でも応募できますが、自作で未発表のものに限ります。

賞

- ・最優秀一点 賞状及び副賞十万円
- ・優 秀二点 賞状及び副賞三万円

・平成十五年九月十日当日消印有効
その他

・作品の著作権及び版権は、茨城県
に属します。

・応募作品は、返却しません。

応募先（問い合わせ先）

〒310-8555（住所不要）

茨城県林政課全国植樹祭準備室

「シンボルマーク募集」係

TEL 029-1301-4034

ご利用いただいていますか？ 森林課ホームページ

山形県では、総合行政情報サイト「ゆとり都」ホームページを開設し、皆様に様々な情報を提供しております。この中の森林課のページでは、4つの県民の森の紹介やイベント情報、森林研究研修センターでの森林研修など、身近な森林関連情報を発信しております。

また、天皇皇后両陛下をお迎えして昨年6月に開催された「第53回全国植樹祭」の式典の様式や、2001年から展開された「里山から始まる森林づくりキャンペーン」についてもさまざま紹介しております。

皆様のご利用をお待ちしております。

森林課のホームページアドレス <http://www.pref.yamagata.jp/10/100520.html>

「ゆとり都」HP内の森林課ページ

YAMAGATA ゆとり都 山形

組織別ページ 県の組織別の情報のページです

ゆとり都 山形ホーム > 組織別ページ > 農林水産部 > 森林課

ホームページの検索

▼ 農林水産部

- 農政企画課
- 生産流通課
- 農業技術課
- 農村計画課
- 森林課

森林課

- 「森の案内人」養成研修のご案内
- やまがたの森林づくり - 長期計画の概要 -
- 県民の森のご案内
- 県民の森のイベント情報
- 第53回全国植樹祭関連情報
- 山形の森林へようこそ

県民の森のご案内

森林を守りながら、都市と農村の交流の場として、自然に親しめるのが森林総合利用施設「県民の森」です。
さあ！森林の中に入って、元気を分けてもらいましょう！

- 眺海の森
- 遊学の森
- 県民の森
- 源流の森

イベント情報へ

感じていただきますか 森があるしあわせ

第53回 全国植樹祭

第53回全国植樹祭 式典

◎開催日 平成14年6月2日(日) ◎開催地 山形市「遊学の森」

天皇陛下による、お手植え 皇后陛下による、お手植え 遊山の子どもたちによる新緑遊樹 式典終了後、東屋6広のてきお祝祭

目的・理念 式典概要 会場案内 ポスター原画展

森林づくりキャンペーン

2002 YAMAGATA

里山から始まる森林づくりキャンペーン

みんなが森林の応援団!!

2001年～2002年 里山出でたプレゼント

地球温暖化防止に貢献する『県産材』の利用

木材を利用すると

(貯蔵効果)

木でつくった家や家具などを長い間使うことで、炭素を長時間貯蔵できます。

(省エネ効果)

製造時のエネルギーが少ない木質系原料を使用することによって、CO₂排出を削減できます。

(エネルギー代替効果)

化石燃料を使用する代わりに木材を使用することにより、化石燃料中の炭素を貯蔵したままにできます。



木造住宅 鉄筋コンクリート造住宅 鉄骨プレハブ住宅

住宅の中に蓄えられている炭素量 (床面積136㎡) の住宅1棟

木の家は第2の森林



木材となっても炭素は閉じこめられたままです

提供：最上村山流域林業活性化センター
TEL 023-631-6566 FAX 023-631-6573

21世紀の緑を美しく、
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団法人

山形県林業コンサルタンツ

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023) 647-1800
FAX (023) 647-1801

印刷所

渡辺活版所

定価

一部二〇円

森林やまがた 8月号 平成15年8月1日発行 通巻第77号

監修 山形県
編集・発行 山形県森林協会
〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内
TEL 023-631-6566 023-622-8823
FAX 023-631-6573

「ゆとり都」森林課ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ns/shinrin/index.html>

古紙配合率 100%再生紙を使用しています